

科目名	生徒指導論特講	担当者	シバヤマ ヒデキ 柴山 英樹	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本科目では、学校教育における生徒指導（生活指導）や教育実践（教育方法）のあり方について、歴史的・社会的背景を踏まえながら、探究していく。その学修を通じて、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>①経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。</p> <p>②仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。</p> <p>③創造力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】</p> <p>今日の生徒指導や教育実践における課題を把握できるようになるために、歴史的・社会的背景を理解し、論理的・批判的思考力を身に付けながら、今後の生活指導や教育方法のあり方を創造することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導や教育方法の歴史的・社会的背景を理解することができる（知識・解釈）。</li> <li>課題に関する参考図書や文献資料を収集しながら、批判的に分析ができる（技能）。</li> <li>自ら問いを立てながら考察し、自分の考えを論理的に説明することができる（知識・問題解決）。</li> <li>実践者として、これからの生活指導や教育実践のあり方を示すことができる（態度）。</li> </ul>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>レポートの推敲過程において、Manaba-Folioの全受講者用の掲示板機能（「スレッド」）に届いた受講者からの質疑に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。</p> <p>【学修方略（LS）】レポート作成</p> <p>まず、基本教材を熟読し、課題を把握することが大切である。次に、関連する図書や文献を読み、課題に関する理解を深めてほしい。とくに、基本教材1で論じられている生活指導の立場と生徒指導の立場の特徴や違いを踏まえて検討してほしい。基本教材2は、戦後の教育実践のなかから自分の興味・関心のあるテーマや実践家を選び、それに関連する理論家・実践家に関する文献を参照しながら深く追究してほしい。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下の目安に最低45時間の学修時間をようするものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本教材および参考文献の学修：20時間</li> <li>レポートの執筆：10時間</li> <li>レポートの推敲と最終稿の完成（教員の添削指導を含む）：15時間</li> </ul>		
スケジュール	<p>基本教材1のレポート課題は、9月課題提出締切日までに提出すること。</p> <p>基本教材2のレポート課題は、1月課題提出締切日までに提出すること。</p> <p>なお、課題提出前に草稿を提出し、担当者のコメントに基づき、修正しながら最終稿を作成する。</p> <p>基本教材1の課題1は7月末、課題2は8月末に初稿を提出すること。</p> <p>基本教材2の課題1は11月中旬、課題2は12月中旬に初稿を提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	テキストの理解度、着眼点、論旨の明確さ、文章表現の妥当性、適切な引用など。 形式面・内容面で不備がないこと。
	観察記録	20%	レポートの添削やアドバイスへの対応など。
履修者への要望	<p>課題について理解を深めて、適切に論述すること。そのためにも、積極的に参考図書や関連する事項について文献調査を行い、基本教材の立場や特徴を踏まえつつ、考察を深めること。レポートは、章立てをして、正確に引用しながら、最後に参考文献も明記すること。枚数は最低でも4枚以上。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 山本敏郎・藤井啓之・高橋英児・福田敦志            教材名： 『新しい時代の生活指導』（有斐閣、2014年）            ISBN:978-4-641-22034-8 1,800円＋税</p> <p>本教材は、子どもの生活現実から出発し、子どもの自主性を重んじ、子どもの社会的な自立を支援する営みとされる生活指導について論じたものである。また、子どもを理解するとはどういうことであるのか、子どもたちをいじめや暴力行為へと駆り立てる生活現実の問題についても踏み込み、生活指導のあり方を模索している。</p>
参考図書	<p>折出健二編『生活指導—生き方についての生徒指導・進路指導とともに改訂版』（学文社、2014年）            ISBN：978-4-7620-2469-6 1,900円＋税            全生研常任委員会企画 竹内常一・折出健二編『生活指導とは何か』（高文研、2015年）            ISBN: 978-487498-576-2 2,300円＋税</p>
履修上のポイント	<p>本書を理解するには、生活指導の理念と歴史を理解しつつ、これからの生活指導のあり方を検討していく必要がある。とくに、「生活指導」と「生徒指導」は明確に異なる概念であり、これらの違いを踏まえて考察する必要がある。本課題が「生活指導」について論じるものであることに留意すること。なお、参考図書『生活指導—生き方についての生徒指導・進路指導とともに改訂版』や『生活指導とは何か』は、生活指導に関する入門的な手引き書であり、関連する文献紹介も参考になる。</p>
レポート課題 1	<p>第Ⅰ部を読み、テキストで述べられている生活指導の原理や歴史を整理しつつ、これからの生徒指導の課題について述べなさい。  <b>留意点</b>：「生徒指導」論の問題点や課題を踏まえて考察すること。</p>
レポート課題 2	<p>第Ⅱ部を読み、子どもたちの生活現実をどのように捉えるかを整理しつつ、本書における生活指導実践の事例を取り上げ、指導のあり方に関する自分の意見を述べなさい。  <b>留意点</b>：本書における「子ども理解」「生きづらさ」「いじめ」「暴力」「特別なニーズ」に関する捉え方の特徴を理解すること。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 田中耕治編            教材名： 『時代を拓いた教師たち：戦後教育実践からのメッセージ』（日本標準、2005年）ISBN:978-4-8208-0256-3 1,800円＋税</p> <p>著者名： 田中耕治編            教材名： 『時代を拓いた教師たちⅡ：実践を教育から問い直す』（日本標準、2009年）ISBN:978-4-8208-0422-2 1,800円＋税</p> <p>戦後の教育実践において教師たちが行った指導の特長をわかりやすくまとめたものである。『時代を拓いた教師たち』では、時代背景を踏まえながら、戦後の教育実践の大きな流れを整理しつつ、時代の流れに沿って15の実践について紹介されている。『時代を拓いた教師たちⅡ』は続編であるが、4つのカテゴリーに分類して、前作とは異なる教育実践が紹介されている。</p>
参考図書	<p>田中耕治編『戦後日本教育方法論史（上）：カリキュラムと授業をめぐる理論的系譜』（ミネルヴァ書房、2017年）            ISBN：9784623078585 3,500円＋税            早稲田大学教師教育研究所監修、「戦後教育実践セミナー」編集委員会編『戦後の教育実践，開拓者たちの声を聴く』（学文社、2013年）            ISBN：9784762029080 2,400円＋税</p>
履修上のポイント	<p>本書を理解するには、序章を読み、戦後の「教育実践」の流れを把握しておく必要がある。また、各章の実践家の取り組みを理解するには、各章のブックガイドを参照したり、Cinii等で関連する論文を検索してほしい。なお、基本教材と同じ編者が、教育方法学の理論的な系譜を軸に、時代ごとの理論や実践、論争の特徴や課題について検討したものとして、『戦後日本教育方法史』がある。また、戦後の教育実践に関わる証言なども踏まえながら検討したものとして、『戦後の教育実践，開拓者たちの声を聴く』がある。</p>
レポート課題 1	<p>『時代を拓いた教師たち』を読み、自分が興味・関心のある章を1つ選び、ブックガイドやCinii等で関連する論文を検索し、その内容を踏まえながら自分の意見を述べなさい。  <b>留意点</b>：基本教材は要点が整理されたものであるため、基本教材を参照しつつも、自分自身で関連する図書や文献を読み、自分なりに問いを立てながら考察すること</p>
レポート課題 2	<p>『時代を拓いた教師たち』あるいは『時代を拓いた教師たちⅡ』から、自分が興味・関心のある章を1つ選び、ブックガイドやCinii等で関連する論文を検索し、その内容を踏まえながら自分の意見を述べなさい。  <b>留意点</b>：「課題1」とは異なる章を『時代を拓いた教師たち』から選ぶか、『時代を拓いた教師たちⅡ』から選ぶか、どちらでも構いません。</p>

### 基本教材 1

第 1 回	教材の学修と、本科目の課題の理解
第 2 回	基本教材 1 の学修：第 1 章および第 2 章
第 3 回	基本教材 1 の学修：第 3 章および第 4 章
第 4 回	基本教材 1 の学修：関連する文献の検索とその内容の学修
第 5 回	基本教材 1 の学修：「生徒指導」に関する課題の検討
第 6 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 9 回	基本教材 1 の学修：第 5 章および第 6 章
第 10 回	基本教材 1 の学修：第 7 章および第 8 章
第 11 回	基本教材 1 の学修：関連する文献の検索とその内容の学修
第 12 回	基本教材 1 の学修：生活指導実践の事例の検討
第 13 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成

### 基本教材 2

第 1 回	教材の学修と、本科目の課題の理解
第 2 回	基本教材 2 の学修：『時代を拓いた教師たち』序章
第 3 回	基本教材 2 の学修：目次を参照した学修内容の把握
第 4 回	基本教材 2 の学修：各章の概要の理解
第 5 回	基本教材 2 の学修：興味・関心のある章の選定
第 6 回	基本教材 2 の学修：関連する文献の検索とその内容の学修
第 7 回	基本教材 2 の学修：入手した文献の検討と考察
第 8 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 9 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 10 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 11 回	基本教材 2 の学修：関連する文献の検索とその内容の学修
第 12 回	基本教材 2 の学修：入手した文献の検討と考察
第 13 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成